京城日報
朝刊

邀撃・出撃・又も戰果燦然

敵機六十八以上撃滅 出撃企圖を完封す

陸鷲マザブ マラワサ兩飛行場急襲

大本營發表（十一月八日十五時三十分）「ニューギニヤ」島方面の我陸軍航空部隊は十一月六、七の兩日「マザブ」「マラワサ」などの飛行場を攻撃し敵機約五十機を爆碎、または炎上せしむるとともに空中戰により十八機（うち不確實二機）を撃墜せり

我方の損害 自爆及び未歸還七機なり

二、「ニューギニヤ」島「フィンシハーヘン」附近の我部隊は十月三十日以降十一月三日迄に數次にわたる敵の出撃を撃碎しこれに四百名以上の損害を與へたり

執拗な敵機群撃摧

海鷲、51對2の大戰果 ラバウル

【南太平洋○○基地八日同盟】敵は去る二日ニューブリテン島ラバウル上空において、わが陸海空の猛烈な邀撃に遭ひ來襲機數二百數十機中二百一機を撃墜され潰滅的大打撃を被つたにも拘らず性懲りもなく五日早朝までに二回にわたりグラマンF6F、ボートシコルスキー40、ロツキードP38戰闘機、コンソリB24の爆撃機合計百四十八機の大編隊をもつて同地に來襲した、わが海軍戰闘機隊は直ちに邀撃して敵機群中に突入し壮絶極まりなき大空中戰を展開現在までに判明せる戰果だけでも敵機五十一機を撃墜した、わが方未歸還二機

海鷲ソロモン及びニユーギニヤの敵陣爆破

【南太平洋方面○○基地八日同盟】わが海軍航空部隊は五日、六日の兩日にわたりソロモン群島およびニユーギニヤ方面の敵陣地を急襲してこれに甚大な損害を與へた、すなはち十一月五日夜わが海鷲はコロンバンガラ島ムンダ方面の敵陣地を爆撃し、その軍事施設を爆破するとともにベララベラ島ビロア附近の敵陣地を襲ひ、二ケ所を爆破一ケ所に大火災を生ぜしめた、又同夜[illegible]ン附近の敵陣地を襲ひ滑走路ならびに地上陣地を爆破した、越えて翌六日朝海鷲部隊は「ニユーギニヤ」島フインシハーヘン附近の敵陣地ならびに地上陣地を爆破したがいづれもわが方損害なし

善謀、敵の機先制す

マザブ マラワサ 包む陸鷲の火網

【東京電話】ニユーギニヤ東部方面において、もソロモン群島方面に於ても戰局決戰は日に〳〵激化し[illegible]一月六、七兩日敵空軍基地の機先を制してマザブ、マラワサなどの中核において十八機（うち不確實二機）を撃墜せしめるとともに空[illegible]二機）を爆破、爆撃機また大いに戰果をあげ敵強襲部隊を粉砕せし[illegible]

山西省内肅清 十月中綜合戰果

【太原八日同盟】山西省内の治安肅清に任ずるわが○○部隊の十月中（今次秋季晋南作戰を含まず）の綜合戰果左の如し（省内は共産軍）

遺棄死體三千五（一千三百八）捕虜千八百七十九（五百〇一）鹵獲品 小銃四百七（[illegible]）輕機[illegible]擲彈筒二十六（[illegible]）手榴彈五九〇（[illegible]）彈藥七[illegible]（[illegible]）その他[illegible]

南昌西北地區に大殲滅戰

敵新編第十二師を捕捉

【中支○○前線八日同盟】敵を猛射して待機中のわが○○精鋭部隊は十一月、新編南昌西北地區に進出した敵新編第十二師（[illegible]）の主力を捕捉、六日朝から完全に包圍殲滅戰を展開した、すなはちわが部隊は南昌西方四十キロの[illegible]附近にあつて六日朝六時過ぎ[illegible]を南下した他の有力○○部隊と呼應して[illegible]に殺到、敵新編第十二師の主力を[illegible]損害を與へたが、さらに東方○○附近に向つて潰走を續けてゐる[illegible]

湖南の敵敗殘軍

我猛攻に敗走また敗走

【湖南前線○○八日同盟】湖南の山野におけるわが軍の決戰的大作戰を[illegible]れをなした周邊の敵は[illegible]雨の中を逃げ惑ひ[illegible]救援しようともせず[illegible]してゐる[illegible]敵第七十三軍（[illegible]）の敵第十六師および第七十七師司令部[illegible]

皇軍、怒濤の進撃

敵の堅壘相踵いで陷つ 洞庭湖戰線

【[illegible]八日同盟】[illegible]方面より南下したわが部隊は六日朝[illegible]の敵を撃破、さらに[illegible]南方の[illegible]を攻略した[illegible]

米英の策動完封

亞國、中立政策を堅持

【東京電話】[illegible]アルゼンチン政府の中立政策を表明し[illegible]アルゼンチン政府の態度は[illegible]アルゼンチンの中立政策を[illegible]チリ・メルクリオ紙記者に對し[illegible]

【[illegible]】「アルゼンチン政府の外交政策は[illegible]中立でアルゼンチンは[illegible]

裏切り伊王家

ナポリ公が繼承 攝政にバドリオ

【ストックホルム七日發同盟】スベンスカ・ダーグブラデット紙のベルン（スイス）特派員がイタリヤ入消息筋の情報として傳へる處によれば イタリヤサボイ王朝關係は關係各方面で既に協議の結果決定された模様である、而して右の協定によればエマヌエル三世が退位すると共に皇太子ウンベルトも繼承權を放棄、本年七歳のナポリ公を立ててこれを輔佐するために攝政の地位にはバドリオが任命されるであらうと傳へられる

大東亞體育代表者會議

【東京電話】大東亞各國の[illegible]は八日午前十時から第一ホテルで開催[illegible]

初の運通省會議

八田大臣 職域死守を要求

【東京電話】運通省では八日午前十時より本省に運通省開設後初の[illegible]

運通相訓示要旨

[illegible]

米英ソ首腦會談

邊僻地で開催か

【リスボン七日發同盟】ワシントン[illegible]

敵の地中海艦隊

印度洋方面へ移動か

【ベルリン特電八日發】[illegible]

赤軍原陣地へ

獨軍反撃奏功

【ベルリン七日發同盟】[illegible]

農家を激勵

山崎農商相放送

【東京電話】山崎農相は八日午後[illegible]

畏くも上聞に達す

感狀輝く古閑兵團

英印軍六個旅を殲滅

昭和十七年十二月英印軍がビルマ奪回を企圖、印度第十四師を基幹とする優勢なる部隊をもつてアキヤブの奪回を企てマユ河南岸に進出し來つた際に對し古閑兵團およびその配属部隊ならびに協力部隊は兵力劣勢なる不利な態勢の第一線に立ち數次の戰鬪に敵を潰滅しとくにラテイドンにおいて敵第六旅を包圍殲滅するとともにブチドンにおいてその第六旅を捕捉撃破しモンドウを攻略して敵の侵入を撃退諸々の戰果を收め、さらに[illegible]されたが、今回畏くも上聞に達した[illegible]八日陸軍省より發表された

陸軍省發表（十一月八日十五時）本年三月アキヤブ方面に對する敵の反攻を撃攘し[illegible]方面作戰部隊古閑兵團主力[illegible]に達せられたり

古閑兵團長

感狀

アキヤブ方面作戰部隊古閑兵團 主力及び同配屬部隊同協力部隊

昭和十七年十二月敵はアキヤブ奪回を企圖し[illegible]

[illegible]

社説

大東亞共同宣言

一

歴史的世紀の會議を重ねて五日、六日の兩日東京に開催した大東亞會議は各國代表の滿腔なる協調の精神と共榮の熱意に彩られ共同宣言を採擇し、これを堂々と全世界に宣布し多大の成果を收めて終了した[illegible]

二

三

[illegible]

日本の維新は

大アジヤの轉期

汪主席、世界向け放送

【東京電話】大東亞會議に中國代表として出席した國民政府行政院長汪精衛氏は八日午前十時より東京中央放送局を通じて[illegible]

昭和十八年五月十日 [illegible]

顧みれば

永久友好

深く信ず

實費の子供保險 オタリオオ 千代田生命

肺患征服 ◎參考資料 贈呈 [illegible] ホルゲナール・ヨチウシン

大日本出版株式會社 修日本文化 訂佛教 大日本年表 科學的教養 植物雜種の研究

國民社 靖獻遺言精義 支那文化雜攷 乃木大將と農事日記

「健民と防疫」 「オツタマ僧正」 「神風連（上卷）」 「青少年のための皇國詩撰」 文松堂書店

昭森社 日本精神史稿 賴山陽通議 巴里の藝術家たち アジアの旅 若き日の夢

相模書房 防空と僞裝 竹と建築 住ひ方の研究 住宅問題 規格家具

學徒出陣の名乘り 全鮮をどよもす感激

"半島學徒も内地の學徒と肩を並べて敵陣に挑んでゐる以上、同級に於ても同じ（?）陛下の醜の御楯として今こそ"と烈々たる愛國心を燃やしてゐたが、各地で開かれた學徒特別志願兵懇談會の席上次々と"我れ行かん"の名乘りをあげ、また父兄もその決意を讃へ送らうとしてゐる、この感激は火の如く全鮮をどよもしてゐる、次々に新しい志願者が出てゐる

父は待つお前の蹶起 懇談會で愛兒へ打電

【大邱】八日大邱公會堂で午前十時から大邱府管内の學徒の父兄懇談會が開かれた、之に出席した大邱府内の知名士と鄕の道前に於る學校以上の子弟を持つ父兄の中から約五十名と、上野府尹、阿部道學務課長らが同席、熱烈な懇談が行はれ、かつて朴重陽氏（中樞院參議）が先づ勸めた志願に続いて大邱府内在學中の正道（次男）を始め、その意見を述べて我が子を學徒出陣に捧げんと申し出た新井一名を初めその人々は次の通りである（順不同）

新井中樞院參議の次男興（明大、正道君）▲大邱高田兼治氏（明大、正道君）▲大邱金子成國氏（中大、二郎君）▲大邱松山源成氏（東大、秋順君）▲大邱松山東夫氏（京大、淳二君）▲大邱吉田德吉氏（日大、元男君）▲大邱富田鍾浩氏（立命館大、秋順君）▲達山潤圭氏（東北大、明淳君）▲達田景秀氏（大大、珍潤君）▲大邱明原正昭氏（城大、一敦君）▲大邱伊原滿雄氏（早大、正男君）▲大邱三宅光大氏（千葉醫專、英二君）▲大邱昌原正治氏（慶應大學、鐘學君）▲大邱松山秀成氏（法政大學、永勳君）▲大邱吉川光宗氏（中大、文二君）▲大邱新井勝昌氏（中大）▲大邱山田當哲氏（鮮專）▲大邱山田原康氏（早大、昇文君）▲大邱山本秀雄氏（京都帝大、泰淳君）▲大邱山大原宗明氏（日大、鍾浩君）▲大邱國山勝秀さん（京城藥專）…本府在學中の學徒の父兄らなほ同懇談會で志願を申出なかつた父兄たちも子弟の激勵電報を打つことを決議し、最後に熱烈な志願の手紙を打つことを申合せ、次のやうな電文をそれぞれ發送、志願の決意を促すことにした

【電文】明日は二十日までだ、早く志願せよ、父は切に望む、志願の可否返電を待つ父【寫眞＝同懇談會】

感激語る出席者

【大邱】八日大邱府懇談會で特に感激を語った大邱府出席者の一人、大邱府内鳳山町中山鳳夏氏は本年一月大邱醫專を卒業し醫業を營んでゐるが、次男が中央大學在學中であるので同懇談會に出席した

自分が率先して學徒の志願を勸めることは何よりも意義あるものと思ふ、父兄も父母がどういはうと斷じて志願すべきで、この熟懇の精神をもって立派な醫者になつてくれることを信じてゐます

ほこの懇談會席上において勸めた父兄として決意を明らかにした金鍾學明大兵の父

陸文和正道君の父中樞院參議金一郎氏および慶山郡珍良面鳳舍洞日本大學法學一年安福鉉君の父福相國氏、同じく府内鳳山町三七明大三年永福鉉三君の母親金氏さんは次々語る

孫龍は學徒動員令が施布されてゐて志願するやう熱望してゐる。何事も率先してやる立派な若者になれと打電した

朝鮮の若い者達のため、この挺身の秋に内地の學生と共に米英撃滅の鐵拳を振ふ崇高なる義務を果すやう勸勵しました。半島人として米英撃滅の秋に立つてくれることを望みます

息子よ征け 海州新井氏強く激勵

【海州】府内旭町新井俊男氏の長男利孝君（二三）は大法學部二年在學中であるが、このたび父が先づ決意を明らかにした、府内の兄たちが期して出陣するに決したので、府内松竹町會長でもある父一敏氏は次の如く語つた

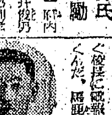
感激篇 その二

【釜山】これは都にある學徒の父と母の感激である……

【その一】「お前はそんなことを相談に、わざく歸つて來たのか……」

「でも僕は長男ですから……」

「長男がなんだ、家がなんだ、早く役所に電報を打てッ！兵隊に行くんだ、馬鹿ものめ！」



これは京城齒科醫專一年在學中の長男正明君（二一）を迎へた父と子の對話であつた、これが母の言葉で、當時府内松竹町會長であつた新井氏は次の如く語る

「征け！早く征け！」【寫眞＝西原君】といふ西原さんの眼にはさすがに

"出陣に何の許しぞ" 歸省の我子叱るこの父この母

り内地留學生である西原弘さんの家庭での出來事である、學校の許しを得て親に相談すべく歸つて來た大學生に向かって、いつになく冷嚴な態度で父である……

「お前の國をお前は國に獻げ奉るのに父などに相談する理由がどこにあるといふのだ」父は父と母である

お前は、お前だ、みんな國家の子だ、お前はお前の身となつて奉公するのみだ、私と共に誠すべきかと父の態度には水のやうな冷たさがあつた

しかしそこには父なればこその溫かい親愛がこもつてゐた

【その二】「母はお前の固い決心を知つてゐます、お前はもやはこの母がお前の決心に反對するのではないかと、それを心配してゐるらしい、この母になんの權利があつてお前が兵隊になるのを反對することが出來ませう、母はただお前がりつぱになるのを楽しみに待つてゐるのみです、お前がりつぱな兵隊になるのも母にとつてはまた無上の樂しみです……」

これが母の言葉であつた、この母の言葉を傳へる時予は元山醫專一年福山本秀昌君（十七）もまたそれを

父最高の喜び 全州の李家氏

【全州】全州府からも二名志願した―京城帝國大學醫學部二年李家一弘君（二三）同一年李家校二年三中一弘君（二〇）の父の李家氏は次の如く語つた

利孝は自分の子であつて自分の子でない、私達國民は畏多くも陛下の大事な赤子をお預りしてゐるのだ、何んで彼らの輝ける芽をふみにじられようか、二、三日前利孝から「お父さん是非征かせて下さい」との手紙が來たので「でかしたぞ、立派に征け」と早速電報を打つてやつた、北支戰線へ愛兒を送る感激と興奮それは日本人ならでは想像出來ないことであり父の誇りである、幸ひ男の子が二人あるので、お役に立つなら何時でも捧げる覺悟を固めてゐる

八日三中君の父李家氏は次の如く語つた

陛下の國に生をうけて軍人になるのは無上の光榮だ、三男の一弘が今度多くの學友と共に出陣を決意したのは父として喜びに堪へない、明倫専門學校は志學の道を學ぶところと聞いてゐる、合格の暁には立派な働きをしてくれると思ふ、四男（一弘）も明年が徴兵適齡だからこれも大君に捧げることを喜んでゐる【寫眞＝三中一弘君】

また一名 平壤署へ出願

【平壤電話】平壤府内高等學校、和氣の朝鮮の學徒が府内高學徒中の一人が戰火激しく志願を申出たので平壤警察署に志願を申出た、今道内に歸省中の五百餘名の内地在學中の學徒が蹶起せんとしてゐるとき更に光つて

その一

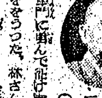
平壤府新里町村木町廿六番地崔治敎男氏次男朗治（?）大學專門部法科一年在學中の平沼英一君（二）で同君は次の時から熱心な軍人志願者、今度の陸軍志願を思ひ立ち、お父さんには何も言はずに、斷じて征けとの言葉である

その二

新堂町二二一番地安田八郎氏長男中央大學専門部法科一年在學中の安田盛武君は先ごろ帰鮮以来ずっと二ヶ月間休暇を貰つて讀書中だつたが、兩親の快諾を得て志願に決したもので、ある

日本人そして一人の若者として、前の一人に……に志願書に署名、強く白井校長を訪ねて志願の決意を述べた後、母の覺悟を述べた

勇み銃執れ 林氏も激勵



【海州】海州府錦町醫院長林敬成氏（六〇）は長男で三男の學資を持つ府内第二町普通學校長で同府在學中の三男榮治君にも、さきに內地大學醫科二年在學中の……

「さきに出陣して征け」と勵ました……

母の激勵を聞いて「お前の母は實にりつぱな方だ」と白井校長は感激といひ放った、それから間もなく出陣を志願したのであつた

金井君も起つ 新義州これで六名

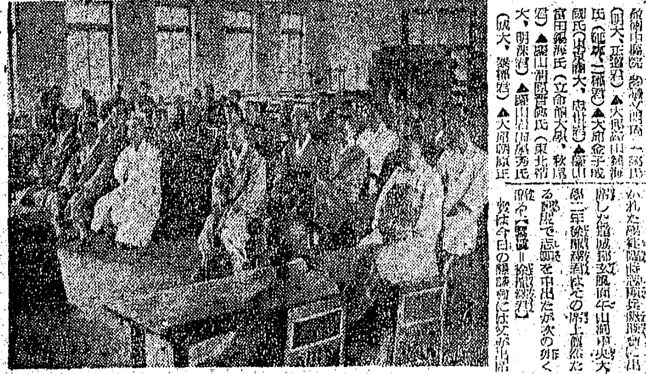
【新義州】新義州の五名に引續き新義州府から更に又一人が名乘りをあげた、新義州府本町一ノ一、水產物卸賣組合金井元明氏（五）の次男で早大文學部政經學科二年在學中の英雄君（二）で同君は先月末歸鮮、今回學徒兵の志願を知つて歸省、父と共に新義州國民兵事部に志願の手續をとるため十日歸郷した

奉戴日に蹶起 釜山から金田君

【釜山】慶南道府出身で内地大學專門部在學中の新鋭學生約七十餘名は慶南の學徒に伍して志願した……府内大新町二九六番地の金田秀弘君（三）は九大法學部三年在學中であるが八日大詔奉戴日の吉日を選び釜山兵事部を訪れ志願の手續をとつた【寫眞＝金田君】

またとない好機 平南の初名乘り高城君

【平壤】平南道の學徒志願第一聲をあげたのは平壤府内新里町九三高城鍾學氏の三男永勳君（二）である。同君は立教大學豫科二年に在學中家庭の都合で先月中旬歸鄕した、今回の特別志願兵制實施の報に接するや、自ら進んで八日平壤署に訪れて志願の手續を執る決意を示し同時に八日平壤署に訪れて志願の手續をとつた【寫眞＝高城君】



和氣君の嚴父感激

父（昭和町九八ノ一）和氣保氏は語る

皆のために母校に帰へらうとした、今度の志願も私の指示ではありません、國を思ふ熱心な心からです、この時代には親に孝行するよりもまづ國に盡すことが大事です、子が兵として馳せ參ずるのは當然のことで、私は國のために一身を捧げる覺悟の子を持つたことを誇りに思ひます

動機など聞くだけ野暮ですよ、前線に出たいといふ私の氣持は、數年來胸の底に燃えてゐたものです、學校當局に復校依頼の手紙を出しましたが、退學が許されず只今まで過ごしてゐました。決意は固いのです、この機會を逃す譯には行きません、學友達は大いに張り切つてゐると思ひます

時計の修理は 村木

陸海諸學校へ晴の榮冠 咸南から八名

【咸興】若き闘魂を漲らせた昭和十九年度陸海軍諸學校生徒採用試驗に咸南道から出願して見事合格の榮冠を獲得したものが道内に八名もあり、その快報がこの程咸興兵事部に通知された、なほその兵科別氏名は次の通り

◇陸軍豫科士官學校＝北青郡德原面江上里木村信福▲咸興府西水貞光▲同清水正明▲咸興府西上町五四ノ十松原秀行

◇陸軍幼年學校＝咸興府西日館合宿

大皇戰遲れまいぞよこの志願

日華相携へ米英撃滅へ けふ參戰記念日 在鮮華僑の誓新た

在鮮華僑聯合會では八日の大東亞戰爭一周年記念日の九日朝九時京城府内本町中華民國總領事館で總領事館員以下京城、仁川、永登浦、開城各華僑代表一千餘名參列して中日同盟締結記念式典を開催、揚總領事は「以て必ず英米を撃滅せよ、東亞は一つの大東亞戰爭の完遂を實現し、世界文化の調和たる新秩序の建設に一致協力邁進せん」と訓示、日華兩國の國旗を掲げて日本軍の感謝を述べ、同生共死の決意を新にし、日本軍に協力せんことを誓つた

大東亞戰爭は勃發、正義を護らんとする大東亞民族の鬪争であることを宣言し、各地で盛大な式典が擧げられた

一方當日午後一時から京城府民館で記念式典を擧行、式後日華兩國國旗を打振り萬歳を三唱して散會した

決戰貯蓄總蹶起運動展開 十二月八日から二十五日まで

昭和第一期の別府奉公運動に續いて、國民の生活に貯蓄の努力をなさしめることに決し、戰力增强の決意を固めるものとして十二月八日から二十五日までの十八日間に亘つて全鮮に「決戰貯蓄總蹶起運動」を起し十二月二十五日までに一層の指導をかけることになり、これが運動の實施要綱を發表した、決戰貯蓄總蹶起運動は全部府邑面に振向ける

一、決戰生活の徹底を圖つて生活の徹底的簡素化に努めその餘剩を一日でも貯蓄に振向け、十二月八日から十二月二十五日までの十八日間を決戰貯蓄總蹶起期間とし

もつて國力增强の生活に甘んずる精神を新にすると共に二十三日を貯蓄日と定めて日常生活に少しでも餘裕があつたら貯蓄に振向けるやう運動を行ふ

又十七日から廿一日迄を貯蓄奬勵化月、廿二日から廿五日までを貯蓄實行週間とし

一般民衆に對しては貯蓄の意義を徹底させるため各種の行事を行ふ

なほ運動期間中はラジオ、新聞、雜誌、ポスター、映畫等を動員するほか映畫ファイルム上映、演劇、紙芝居、標語募集、講演會等によつて運動の趣旨を普及させる

空の大決戰に資金 勤勞者が四十四萬圓獻納

故山本元帥の英靈に續け、と全鮮の勤勞者が敢然起上り職場から職場の決戰に燃えて獻納の炎を擧げた「米英撃滅勤勞者獻金運動」は六月五日から七日間盛大に擧げられたが

この期間中に期せずして献納資金を獻金すべき運動が起り各職場に勤勞してゐた分が今回國民總力朝鮮聯盟に獻納された、これによると總額四十四萬三千九百三十三圓七十九錢に達した、職場では直ちに獻金手續をとるが、その内譯は左の通り

▲京畿九五、八九八圓八〇▲全北二二、六〇三圓三二▲慶北二一、〇四三圓二〇▲江原三、一〇二一圓四八▲慶北二一、一二〇四一圓八九▲全南四九、二二七八四圓八六▲咸南三六、六〇七、五二五四圓七〇▲平南一〇、二二二八四四八▲慶南一一七、三七七圓三三▲慶北二三、九〇七一圓六一▲平北一七、三〇一一四▲咸北四一、一二二四圓七五▲平安總督圖一〇、八七三

靑少年よ征け空の決戰へ 十九年前期甲飛練習生募集

【東京電話】海軍省では航空戰力の充實をはかるため昭和十九年前期甲種飛行豫科練習生を募集することになり八日その銓衡要項を左の通り發表した

志願者の提出期日は各府縣市に指示されるが大體十二月二十五日前後をもつて締切、志願資格は中學校第三學年終了程度の學力を有するもので年齢十五年以上二十年末滿（大正十三年十二月二日より昭和四年十二月一日までに生まれた者）である、受驗の制限はない、試驗は昭和十九年一月上旬身體檢査、口頭試問および學力試驗を施行されるが、學力試驗は一月六日、七日全國一齊に行はれる

合格者は四月一日海軍練習航空隊に入隊し、約一年六月（戰時中においては短縮されてゐる）にわたつて教育訓練をうけ豫科練として前線に出撃する

なほ詳細は各府郡市町村役場か、最寄りの海軍人事部または地方海軍人事部などに問合すか「甲種飛行豫科練習生案内」の送付を願へ

肉類の指定消費地決る

【京城】これは總督府の配給統制の實施に伴ひ、肉類の消費規正を圖るため總督府では先に朝鮮肉類配給規則を公布したが同規則の第二條、第三條および第八條の規定に基き指定消費地を決定し、京城、釜山、平壤、大邱その他四十六都市を指定された地域である

指定された地域は一元的に配給されることになつてゐる、又これは同時に屠殺數を制限することになつてゐる

【京城】この指定地域内の屠殺は總督府が自治的の最高取締を行ひ、消費を制限し、なほ殺畜數量を規正するため慶尚南道では屠畜割當制度を定め、これにより鷄卵

一分強の上昇 簡保維持漸增期間の中間成績

【京城】簡易保險保險業務で保険月十六日より本月十五日までを簡易保險維持增强期間として職員一同精勵してゐる

その中間成績を見るとカード提出件數二萬六千八百九十九件この中成立件數は一萬九千十三百十八件で五割六分九厘に相當し、前年同期の前年十月中の成立件數四萬六千八百五十七件に比し、收立件數一萬二千百六十件で五割六分に相當する、前期間中の成績に比すれば一分九厘の上昇を見てゐる

商況（九日）

證券 小高下 材料待ち

新甲 ここ數日にわたる大暴騰も漸く徒々に織り込まれてよいわけであるが、一般投資筋はなほ自重の態度を持し、未だ株價の上には向う具體的な動きは現はれず、依然保合のまま小高下を繰返したにすぎない、しかし去る七月末以來五箇月に於ける動機待ちの形勢にあるのであるから、一般が愛好の材料を無視した反動が現はれ、商店に何かの暗示がないかと見る向もあり得るわけである

當面の國債が蓄積の過程から進んでゐる中に一般企業會社を目指すことは、新合二百四十九圓七十錢、鐘紡五十九圓五十錢、大阪四十二圓九十錢、日本マグネ六十八圓九十錢と升錢方騰り、新鐘七十二圓五十錢と二圓方続落、新鐘機械七十二圓十錢と小騰りを示した

後場 新鐘機材料特ちに引續いて保合、鐘株も保合程度

"實物"稍閑散

"實物"材料待ちに引續き保合の氣配を見せ、一般は鎮靜に推移した

京紡新二五〇▲小林六五▲能工新三〇▲小林六五▲西内田五一▲一圓

重點株好調を期待

戰爭の直接生產に伴ひ軍需生產の要請が激增せる今日、綜合株一覽となる重點株の動向は、株價の動向とは必ずしも一致せぬが、今後は重點株は優遇される

一般株界の動向は今日では近い將來に株界の動向に大きな影響を及ぼし、株價の動向を左右するものと見られてゐる

國力增强が唱へられて來たのである、株價の變動は、飛躍的な戰時下の大々的機構改革へて事業遂行の上からも人といひつゝ、けて來た政府が、國政運用の寸刻の猶豫をも許さぬ急迫情勢の前に、敢然として、ともに從來の機構を以てしては處到底、新規な計畫と强力な實施を所期し得ないと認めたのである

山一の投資信託 山一證券では先に小林鑛業、新に小林鑛入を買入れ、これにより、さらに株價の上昇期待されてゐる

現株仲値（九日十一時半）

[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

清算出來値（九日）

[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

大和水軍（47） 異國の王子（五）

村松梢風（作）　中一彌（畫）

カスミ王はヤスラ王子を病床に引見して、久方振りの親子對面を遂げた上、人を遠ざけて種々の事を問ひ試みると、王子の頭惱は明快で、父王の考へてゐることと一致したので、カスミ王は非常に喜び、王位を譲る者はヤスラ以外にないと深く決心して、其の後ヤスラを王宮へ留め置く様になつたのだつた。

からいふ事はどんな秘密にしても直ぐに洩れるもので、他の王子達や王妃達に知れ渡つたから王宮の内部には大騒動が持ち上つた。「あんな兵隊上りの化け物に王様となられては堪らない」

と家臣は勿論、王子達は自分で次の王樣になれるだらうと各々期待してゐた連中は、突然現れた不思議の風雲兒位の簒奪者と、忿々として王宮を出て、和蘭船へ行つた。

此の際兄弟の争は必ず一人々々の爭ひになるところとなつた。三日三晩つと富組の大臣とカインが十二名の王子達がヤスラの所へ來て「今度來たのはあなたが、兄弟の中で一番だ」

ことであるからと殿は最早あなたを迎へた、

「それなら此のまま王宮に留めて歸る、正直なやヤスラは彼等にそんな眼をみせてはあるが、これは十分戰術も整へなければならない

に行つて頂き度い」と一同で言葉巧に勸めた。

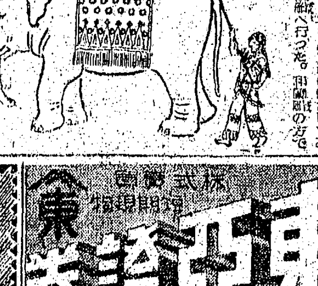
脱ぎ一言、又彼は和蘭と開戰する意見ではあるが、それには十分戰備も整へなければならない

「それなら名案がある。今彌へ入つてゐる和蘭の船隊に對して家から贈物をすることになつて居るから其の使者にヤスラを選ばう」とのことだが、どうであるか」といふので

「王子殿、閣下はわが和蘭の國に來られることを望みます」とヤスラはそれに應じた

ヤスラは此の突然の命令に內心ヤスラを承知した。その上で和蘭の船に行つてみると、船の主が大いに御馳走をして、豪勢な食事にヤスラを招待した

ヤスラは此の好意を疑はなかつたので……



文化だより

演劇の統演白熱化

【黃金座】黃金座が第二次統演を開始した、半島の演劇文化の向上發展に貢獻すべく朝鮮演劇文化協會では總力聯盟と協議して、演劇文化の向上と半島の劇團の統制を圖るため第二回半島演劇競演大會を開き、國民演劇十二日から四日間（十一、十二、十三日）府民館で開催することになつたが、演劇は戰爭目的の完遂を意識する建設的な作品でなければならないことを規定したものである、今回は作品『滿洲』、朴春陽作『北方の烽火』四幕を演ずる

映畫雜誌統合

映畫雜誌は從來の四社が三社に統合されることになり、このうち映畫出版社、映畫日本社、映畫旬報社の三社を統合して映畫出版株式會社（假稱）がこの程設立された、十二月一日から新發足することになつた、そして同社は映畫紹介普及誌『新映畫』と映畫技術研究の指導誌『映畫技術』の二種を發行することとなり、大日本映畫協會の統制下に置かれる

京日歌壇 增田數郞選

ビルマ軍　加藤　信一
故郷の母の手紙はこまごまと南國のさまを思ひ書きつゞりたり

山河を越えて近づく（?）……

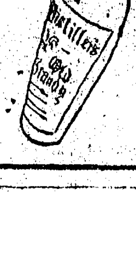
【日本映畫】『日本映畫』と『映畫旬報』を合併する新社名が近く發足をみるはずである

四時半から放送する……

◇ 廣告

京城婦人病院 産婦人科・院長醫博 松木平治 ラヂウム科・ドクトル 工藤武城 レントゲン科 北米倉町九四 電話本局⑤二一一

空瓶回收に御協力下さい ニッポンブランデー



本町入口 日本生命裏 皮膚泌尿 性病科 醫學博士 渡邊晋 電話本局⑥七四

醫學博士 泌尿 性病 皮膚 泌尿科 朝鮮ビル3階

清水式 灸と指壓 京城府中區明治町八十四番地 醫學士 清水可昭

院長 久井上國 井上內科 昭和通ロータリー 電本一八五一

株式會社 東亞證券 朝取一般取引員 京城府黃金町二丁目 電話本局五一六一

吉村取引店 朝取一般取引員 京城府黃金町 電話本局

普通病室 隔離病室 內科一般 X光線科 院長 醫學博士 佐藤小五郎 佐藤內科 京城府本町 電話本局②一八〇八

新龍山三角地 入院設備 西原產婦人科 電話龍山（?）一五一五

女子從業員募集 御希望の方は履歷書持參本人來談あれ 年齡十六歲より廿歲まで 大映直營 京城劇場 京城本町三丁目

レントゲン科 入院室完備 近江產婦人科 電話本局⑥二〇四九 旧竹添町 近江病院

神經科 城北病院 院長 醫學博士 服部六郎 京城府城北町 電話⑥三九三〇

貯蓄報國 大東亞戰爭國債 集團受引 貿易 株式 債券 川島屋證券 京城支店 京城府明治町二丁目 電話本局②一四七六・八三八七・八三八八・八三八九

朝取一般取引員 公社債株式會社 昭和證券株式會社 京城府明治町

競ふ棉作 纖維王國の産地めぐり

記録突破に邁進 白熱・南原の優勝旗戦

全羅北道

【木村特派員記】慶尚南道として、生産の筆頭地帯にある全羅北道は記者の訪れた十月廿五日は棉刈りと麥播種の最盛期で、棉花供出督勵が明朗な態度であつた爲に充分な成績を得られなかつたのは遺憾であつた、しかし出廻り期が例年より約一ケ月も早かつたので道の供出目標である八百五十萬斤の約五割は供出濟になつてゐたから、播種期が終つてから收めて棉花供出をやつても間に合ふといふ目算がついてゐたやうだ、然し郡關係も知らないうちに各郡守に對して『郡、邑、面に貢獻を〔illegible〕』と供出を督勵したが、それ以上は無理に供出させるな』といふ趣旨の通牒を出したことは、棉花の増産上で見逃しに出來ない事柄である、棉花が重要物資として相當の需要を要求されてゐる事態とを認識して貰ひたいものであるといはれても仕方がある

本道の棉花作付は反當百廿六斤で總收穫高二千六百八十五萬斤を生産し、その約四割に當る八百五十萬斤を供出させ、殘る六百萬斤を自家消費させる方針のやう

である如、これでは明年以後の生産の郡民の棉花供出に對する意欲に、深刻な影を落しはしないであらうか、然も昨年の如く不作であつた年に供出目標を五千五百萬斤とし、棉作の本年が八百五十萬斤といふのは、道當局者の一考を促したいところである

といふべきで、昭者の廻つた南原、益山、井邑の四郡は殆ど總作物を如何に供出すべきかの悩みを訴へてゐることに擬してもこの不安を抱へるわけである

尤も實際上の供出状況は非常に好調であつたことは小ないことであつた、以下三郡の供出實績を探つて見よう【寫眞＝南原郡棉の山】

南原郡は新記録か

棉作地帯にある南原郡は郡廳所在地の南原は『春香傳』の主人公が過ごしたところだけに物語かな町だ、ここには朝鮮紡績南原工場があり、既に百廿萬斤の買付をして十一月四日から操業する

敗取りになつてゐた、郡内は一邑十七ケ面であるが山間部の雲峰、朱川、山内の四ケ面が全然棉作をやつてゐないので十四ケ面目が互に優勝旗を目指して供出をやり、その結果、既に殆どの面が目標に達つた、八十七萬斤を突破すること五十萬斤といふ好成績を納め、昭和十四年の百十二萬斤の記録を破つて百十五萬斤は確實に超える模様である

この郡が棉作で自慢して貰ひたいことは金池面が最南端にある六十町步に〔illegible〕昭和十四年の供出記録を破る棉作で既に〔illegible〕十四年の二倍を超過してゐる

飛躍する益山郡

益山郡の棉作〔illegible〕は〔illegible〕全州〔illegible〕によつて今日の如く棉作増加となつてきた

〔illegible〕棉作一反當りで、棉以外には一本も植ゑないといふ熱意した〔illegible〕から〔illegible〕を盛り上げてゐる

だと生産の〔illegible〕が〔illegible〕んでゐた、一昨年の供出に對する熱意は郡廳員も一段と張れる程で、『棉花供出の躍進しがつくまで』との命令を下してゐる

今年こんなに早く目標を突破したのは棉作であつたことにもよるが一つには面に全責任を負はせ、しかしかの棉作を必ず供出所へ出せと協力者を示し、達成した面には、昨年まで郡關係員が奨勵班として出張旅費に使つてゐた金を全部面に振り當て二百圓づつ出すことにした等の理由による、これは非常に面職員に勵みをつけることになり、折からの天候を利用してやり、その結果、既に大部分の面が目標を〔illegible〕

〔illegible〕棉作の本年度は前年の記録を〔illegible〕買ふ事を〔illegible〕好成績を〔illegible〕

〔illegible〕

棉作二位の井邑郡

井邑郡は〔illegible〕松原技手が〔illegible〕によると〔illegible〕

軍事 軍馬と軍犬（下）

次に戰場の軍馬に就て比較的用いる所要頭數と出征兵員との百分比を見てもその趨勢が知られる、一例を示せば次表の如くである

普墺戰爭（一八六六年）一五%
普佛戰爭（一八七〇年）一七%
日露戰爭（一九〇四年）三〇%
第一次大戰（一九一四年）三七%強

即ち右表によれば日露戰爭當時は出征兵員百人に對して馬數は約廿頭であつたものが、第一次の歐洲大戰となると百人に對して卅七頭を使用してゐる譯であつて、この増加傾向を見れば支那事變、大東亞戰爭となり、今次の世界大戰に及んで是等に南方の作戰等の増加して來てゐること想像に難くないところである

う、近代戰に於ては機械化部隊の活躍が目覺ましくそのために軍馬の必要性が少くなつたのではないかと思はれ勝ちであるが、實際は全然反對でいよいよその重要性を加へ來りつゝあるのである、いふまでもなく戰勝の鍵は偉大なる機械化部隊と強大な機械化部隊にあること當然であるが、それと同時に軍馬の必要性が一層加重されて來てゐることは過去の主要戰役に於て

武器兵器の發達につれ戰爭が益々大規模となり殺傷、損害の消耗が益々莫大なものになることは改めて指摘するまでもなく近代戰の一特徴であるが、この大消耗戰に於てこれら兵器、彈藥、糧秣や衛生材料等所謂補給の規模は又莫大なものである、殊に自動車道路が完備し鐵道網が四通八達してゐる歐洲の戰場と異り支那大陸、ビルマをはじめ南方の戰場では峻險な山路や狹い泥濘な道路が多く補給路に於ける輸送の必要量はそれだけ多い譯である

んでは更に軍馬の使用數の増加してゐること想像に難くないところである

ける軍需品運搬用の車馬は、近代的機械化と補給量の飛躍的増大に伴つて次第に減少して來たが、兵團用の比率は寧ろ増大して來てゐる、步兵が他の兵種よりも却つて軍馬の保有數が多いといふことは一面兵團自身の機動力を物語るものであらう、なほ現在では騎兵の兵以外に何れの兵種も軍馬の必要のないものはない

次に軍馬の育成のことであるが、之は周知の如く全部軍馬補充部の手で行はれてゐる、軍馬補充部は全國八ケ所の牧場で三歳位になると全部買上げ、五歳の秋には第一線部隊へ配屬されて實戰部隊として

以前は輜重兵の名の下に輜重の主力が騎兵、砲兵、輜重兵等の各兵種に最も多く利用せられたものであつたが、時代の推移とともに機械化の進んだ今日の戰場に於ける軍馬の保有數の比率は大幅に減少したものの、只今の戰場では依然として兵團に於ける軍馬の數は相當に多く〔illegible〕

% に過ぎなかつたのであり、機械化の進展と現在に於ては上の程度と見られ、從つてこの點からも軍馬を必要とすることはいふ迄もないのである

ニミヤ戰に於ける英佛聯合軍兵力五十萬餘の内に於ける外征兵團は實にその一六%に過ぎなかつたのであり、

その服役期間は六歳から十四歳位迄で、一旦事ある場合に動員される譯であるが、實戰に使用されるものは相當の數に上る、〔illegible〕

あつては輸送其他の事に從事して貰ふもので、平素からの訓練が必要である〔illegible〕

されるものは後方勤務と呼ばれる〔illegible〕、蓋し軍用の軍馬は人間と同樣、大いに必要なことである

軍隊と同じく兵隊から〔illegible〕

棉供出前年の四倍 但し選棉、乾燥は不充分

〔illegible〕

いふ程り切りがつたと〔illegible〕

纖維設備の移駐 東棉、郡是等工場を擴張

〔illegible〕

計畫交易の强力化 交易業整備要綱發表

【東京電話】政府は決戰的現段階に對應する決戰經濟體制確立の一環として對外交易業者の整備を強化せしめ、交易業者の有機的統合と綜合的協力體制の確立を強化するための整備をはかることに決定し、八日情報局より左の如く『交易業整備要綱』を發表した

情報局發表

昭和十六年七月廿六日以後相次ぐ米英などの對日資産凍結措置によりわが國の第三國貿易は全面的に杜絶するに至り、わが對外交易は專ら大東亞共榮圏内物資交流の圓滑なる遂行に移行する傾向顯著なるに鑑み、政府は昭和十六年十二月廿三日發表せる貿易業整備要綱により第三國關係輸出入業者三百九十社中七百七十餘社を整理せしめたるも、今や大東亞戰爭は愈々決戰的段階に突入し戰略物資の確保は焦眉の急務なり、しかも戰爭の進展に伴ひ國內物資の需給關係は逼迫せる現状にして、重要物資の輸入確保を目途とする交易の計畫的かつ强力なる遂行は絶對的要請なるところ、交易の統制運營の一元的強化を期するため交易業者の整備を斷行せらるべきものにして交易業者の強化をはかり、併せて餘剩業體の經營力を轉換して戰力增强に寄與せしむるため左の如く交易業の整備をなさんとす

交易業整備要綱

方針 内外の情勢にかんがみ計畫交易の強力かつ圓滑なる遂行は現下の最緊要事なるに鑑み、米英等の對日經濟斷交に對處し、第三國關係輸出入業者の整備をなした〔illegible〕るもさらにこの際交易業者を中心とする交易業者の計畫的活用をはかり、併せて餘剩業體經營力を轉換して戰力増强に寄與せしむるため交易業の整備をなさんとす

要領一、整備の方法

甲 輸出の部 （イ）整備の方法は左によるものとし基準以上の業者を適格者とすること

（一）綜合統制會社の輸出實績は一般の商社と區別し〔illegible〕

（二）前号以上にして〔illegible〕

乙 輸入の部 （イ）整備の基準は左によるものとし基準以上の業者を適格者とすること

（一）綜合統制會社〔illegible〕

（二）〔illegible〕

すること（三）綜合統制會社及び〔illegible〕

二、適格者の運用 適格者たる業者は〔illegible〕に配屬させ〔illegible〕

三、轉廢業者に對する措置 （イ）轉廢業者に對しては別に定むるところにより

（ロ）轉廢業者の從業員については〔illegible〕

（ハ）〔illegible〕

四、地域の中の〔illegible〕

五、交易業務統制の運營實施に關する具體的事項については〔illegible〕

六、本要綱實施上必要なる事項は別にこれを定むること

備考 交易業者の〔illegible〕日及び〔illegible〕

相互連絡を緊密 統制會定期懇談會開催

〔illegible〕

京畿食料品卸組 常務理事異動

〔illegible〕

南ボルネオの祕境を行く（上）

【バリツクパパンにて木村海軍報道班員】南方戰線のほぼ中央にどつかりとその巨軀を浮かすボルネオ島は密林地帯の中でニューギニヤに次で最も開發の遅れてゐた島である、それだけにこの眠れる寶庫ボルネオの開發は大東亞建設途上に課せられた今日の必要事であり、それだけに皇軍の南ボルネオの大任を帶びて開發すべき職域にとつてあらゆる困難を克服してもなさねばならぬ大任務であるのだ、戰局は一年有半、いまや南ボルネオは過去の段階を過ぎて新たなる段階に邁進し、到るところの深い林の開發を發見するかのやうに歩を進めつゝ、奥地の白地圖地帯に向つて、どしどし探險隊が繰出され、未踏の奥地原住民に至るまで皇軍の威光を知らしめるとともに各種資源の調査が行はれ、これは南ボルネオの開發は漸く大東亞の曙光を浴びて再建設しようとしてゐる、記者はその探險隊の一つ、一行十三名からなるマハカム河奥地探險隊に参加し、去る五月十一日バリツクパパンを出發、ボルネオ三大河の一たるマハカム河上流スンガイルワヤ、グヌンベラおよびバトプチ三地區の奥地を二千餘キロに亘り、或はダイヤ族の操るプラウに揺られ、或は山路に難儀されつゝ、踏査に踏査を重ねて八十餘日を過ごし、去る〇月〇日無事バリツクパパンに歸還した

進んで皇軍へ協力

南ボルネオ奥地探檢の報告で特に報告したいことはボルネオ奥地は皇軍以外の平和境であるといふことである、遠く北ボルネオとの國境カプアス山脈にその源を發し、滔滔悠々として南部ボルネオの原始林地帯を南東に八百餘キロ、マカッサル海峽を前にサマリンダで大河を開く大マハカムの河口に探査の旅

〔illegible〕の出發した探險隊員にも少くとも期待したことは大ジャングル地帯に猛獸の襲撃を受け、度々仲間の〔illegible〕は砂金の黄金林の中でダイヤ族の夜襲に苦しむといふ無氣味な聲のあつた時、一度は〔illegible〕されるに至つたが、或は今〔illegible〕に〔illegible〕

ものゝ月並の想像をしてゐたのであるが、この期待は見事に裏切られ、この探險隊の前途に南ボルネオ奥地は平和境なりと言はねばならぬ結果である

われわれが同行いた地域は凡てダイヤ地帯で、皇軍將兵の協力によつて探險隊に對する協力振りは大したもので、寄生的な〔illegible〕の酋長、部落の長老、酋長等に至るまで極めて好意的で、和やかな點、また〔illegible〕を示した

【寫眞＝マハカム上流を遡行する一行】

切つたといふ方に呆れて、スンポアン村の酋長の息子二人などは、たとへば〔illegible〕風の便りに皇軍が來ると聞き、進んでわれわれの行動隊に〔illegible〕訪れて來て進んで道案内を願ひ出るなど、彼等の心からの歡迎には我々の方が面喰ふ程で有つた

猶種族のダイヤ族など多く皆の移動的に過ぎない

野豚と鹿と多少の禽類と野牛位の獸は存在するが、それ以外猛獸の咆哮はおろか、一向も猛獸らしきものにすら出會はなかつたのである

道案内願出る住民 猛獸は野牛だけの奥地平和境

成程南部ボルネオの奥地としては既中以外は目ぼしき〔illegible〕もの〔illegible〕られてゐないことが〔illegible〕、また有名な物産にも〔illegible〕といふ話の〔illegible〕けず、奥地の實相は〔illegible〕らするくらゐ〔illegible〕境である、気候も我々が行動を〔illegible〕し去五月は未だ雨季で大分雨に惱まされたが、六月から〔illegible〕

り、又は内地の〔illegible〕もの〔illegible〕り、口に入れば入るほど〔illegible〕ダイヤが作る〔illegible〕ず殆い〔illegible〕くるまつて〔illegible〕漢下のボルネオの山の中から〔illegible〕内地の七月を思つたものである

河はボルネオの母

われわれの行程は三つの行動に分れる、即ち第一次行動はバンゼルマシン州の〔illegible〕くの白地圖地帯として取り殘されたマハカム河の支流〔illegible〕地區なるスンガイルワヤ方面の踏査である、五月十二日早朝、〔illegible〕類と飲料の〔illegible〕、コーヒー、〔illegible〕衣類など〔illegible〕につめこんだ探險

品は鋼鐵製を次いでサマリンダから出發し、マハカム河を遡行した、石炭の街ロアクールに次いで舊き〔illegible〕られた〔illegible〕の〔illegible〕一の都〔illegible〕を過ぎ〔illegible〕ガロンを左に過ぎ〔illegible〕文化と隔絶されてゐる兩岸に點在するインドネシヤの家は〔illegible〕といつた〔illegible〕

れ二十米くらゐの床の高い〔illegible〕根と〔illegible〕を二ツ〔illegible〕は〔illegible〕

部落の〔illegible〕（河はボルネオの母なり）〔illegible〕

軍艦旗未踏の地へ

一切の探險隊を〔illegible〕へた探險隊は〔illegible〕

白地圖地帯ルワヤ

スンガイルワヤ地區は一九二六年、和蘭人技師十名が地誌調査のため〔illegible〕一度入つただけで、その〔illegible〕

ルワヤの流れは一轉して〔illegible〕る〔illegible〕ある（つゞく）

隨想録

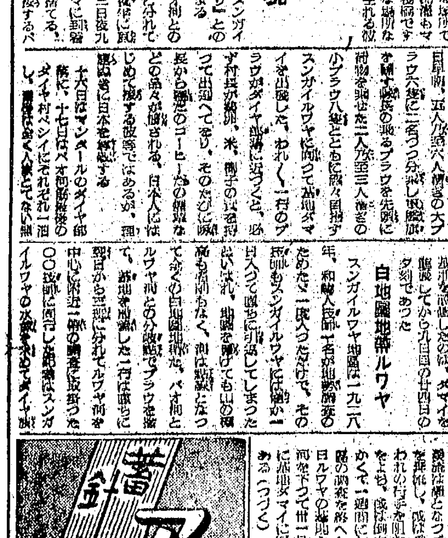
〔illegible〕

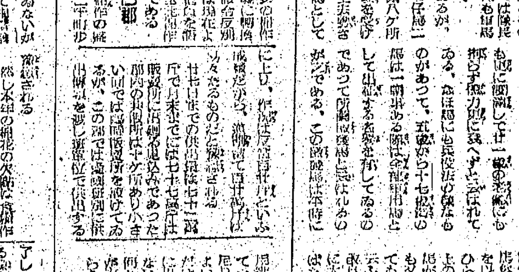
清算出來値（八日後場）

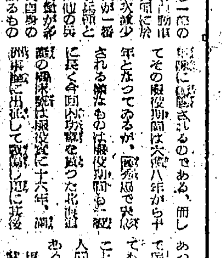
〔illegible〕

登記公告

〔illegible〕







中央公論
十一月號・八十錢
非常體制と帝國憲法 大串兎代夫
日本國民運動の新段階 清水伸
特輯 國內態勢の決戰化
★生産の綜合强力體制 松前重義
★統制機構と地方協議會 永野護
★食糧確保の基調 三浦一雄
座談會 皇國經濟の決戰態勢
第一回 皇國經濟思想の確立
第二回 決戰生産體制の推進
日本革新思想の本質 寺田稻次郎
日本的性格 鈴木重雄
北千島にて 里村欣三

改造
十一月號・七十錢
科學教育の使命・杉靖三郎
國體と諸學の關係・坂口三郎
法文系學人の道・小林元
一億戰鬪配置の基本要請・穗積七郎
大東亞戰爭とビルマの獨立——飯田祥二郎
キスカ撤收部隊・昆野誠
アメリカの對外政策（ストレムベル）
★古き城內の街（宮本三郎）
★救世觀音を刻む人（高村光太郎）
木村榮博士と日本天文學・檜淵昌癸
特輯・食糧對策と土地改良
▼決戰食糧確保の方途・東浦庄治
▼食糧增産の隘路・磯邊秀俊
土地改良の技術と實際
瀧口三郎 秋葉滿壽次 野村寛之進 和田榮太郎 龜井靜彰 尾野勝 十島張樹
小説 春の山かぜ 丹羽文雄

征け鐵血盡忠の道へ
出陣學徒に贈る絢爛たる盛宴

「征から半島出身學徒――内地の學友と共に米英の學徒が決意の秋は來た、征こう半島人學徒――内鮮一體の將來を約束するもの……ペンを剣に代へて決然と志願した半島人學徒の熱血の雄叫びに燃え……八日午後六時半から京城府民館で開催された……」

[illegible]

今ぞ示せ〝皇民半島〟
呂運亨氏、遂に起つ
學徒よ戰列へ

靜かなる秋の陽あしが北漢山の山の肌にさしかからんとする大詔奉戴日の八日午後五時近く日軍國の閣下を訪問に關係者にあたふたと消えて行つた人物があつた、薄鼠色の合オーバに堀大の竹のステツキ、鼠色のソフトの鍔に銀髪をさらへた頭髪をのぞかせて、涼やかな眼もと、上品な口髭、それが敵藏の時もない老紳士である、三分、五分、七分――やがて老紳士は總督府から出て來ると待ち構へてゐた敵生總力聯盟總務局長の前に顔を出して身體を前にほやかな若さを顔ほせながら『やあ、お待たせしました、ついてやります、總力盟お願ひします』と瞬かに言ひ出すのであつた、『お顔がお疲れいさうですが』『大丈夫ですか、人顔が大變嬉しいさうですね、私の手許に見ばかりありますから、しかつたのらほど拍開けしまひ』

半島學徒もまた彼の師格といひで立ち得る軍く聞かさつも開かれたのが十月廿日、この地では、もとより内地在學の學徒が決して敢然としたのは、今こそ學徒は征く、今にして起つたずんばいつの日にか學徒が威名を揚げ得ん……〔寫眞は呂運亨氏〕

志願學徒に便宜
――手續きはこの様に――

一、署名捺印でも結構
署名捺印でも結構
願書・學歷・承諾書の三つ揃へて

願書の樣式
學歷一覽表樣式
承諾書の樣式

本籍地　道　郡（府）面（邑）　番地
現住地　〃　〃　〃
本人　何　某（印）
戸主　何　某（印）

[illegible]

〝許す、漢植よ征け〟
令息を決戰場へ李家議員歸る

[illegible]

待つてゐた學徒擧つて志願兵

昭和十八年十月朝鮮中央日報社長の呂運亨氏が……

朝鮮軍からの注意

[illegible]

奮ひ起つ學徒
我も〳〵と志願相踵ぐ
奉戴日

[illegible]

弟らを大義の道へ
半島の先發部隊内地出發

〝〟〟擧つて從軍看護婦
出陣學徒の向う振る軍國乙女

本社寄託獻金
國防獻金　恤兵金

[illegible]

晴の陸士合格
京城師團發表

大東亞戰爭 第二回聖戰美術傑作展
會期　十一月十一日より廿五日まで
會場　總督府美術館
觀覽料　一般金四十錢（税共）
主催　京城日報社　陸軍美術協會
後援　陸軍省　朝鮮軍　朝鮮總督府

朝鮮警察官採用
朝鮮總督府警察官講習所

感冒に　ノーシン　笹の虎
　
神兵征く　吾れらは生産戰で勝ち抜かう　製圖に・筆記に　トンボ鉛筆

女性も皆働く　いつも朗かであるのは素肌です／
働くお肌は荒れ易い　皮下によく沁みこんで健康な美しさを保つ皮膚栄養ラセラン　の効果發揮の秋！
マスター　バニシング　クリーム

釣具　秋岡商會

モルヒネ・阿片　中毒患者専門治療
京城治療院　絶對無苦痛　五日間完治　入院室完備　暖房装置　京城府鍾路區城北町一三三番地（前飲食事務）

精力強進劑として卓抜なる効果を發揮する！　ハトボン

各種活性　タイアント（ベントナイト　ポーダー）　製藥用　製紙用　浄水用　代理店　北島藥店　製造元　大安化學工業

淋疾にゴノフェミン

せきづゐ病　カリエス、骨膜炎、神經病　元木脊髓藥本家

毛をはやす新療法　森下みや子

月やく　中尾本家

耳鼻科　整形科

京城藥都房淋藥　懇性の特効秘藥　藥都房

失踪宣告

花柳病泌尿科

兄らよ雄々しく征け
乙女らが叫ぶ學兵出陣の激勵辭

いざ征け、兄らよ、銃後は私達が護ります――乙女の赤誠をもつて戰列に赴かんとする學徒志願を激勵する［illegible］四年生［illegible］子さんほか五名が代表となつて烽火をあげ［illegible］モンペの姿も凛々しく［illegible］大詔奉戴日の八日［illegible］初めての［illegible］

まづ生徒代表本田［illegible］子さんが感激に胸を紅潮させて壇上に立ち『この屋根の下で育つた兄達を一人の落伍者もなく勇んで志願させる責務は私達の上にかゝつてゐます』と感涙とともに決意の辭を述ぶれば［illegible］

［illegible］學兵の使命を讃へ［illegible］女らは感激の涙をぬぐひ［illegible］

志願兵翼賛會
送り出さう學徒
東部委員會も發足

［illegible］

貰上げを獻金　［illegible］

遵法講話の會　［illegible］

初給料も　［illegible］

忌明獻金　［illegible］

適齡者に注意
受檢願を期日まで届出よ

［illegible］

優良警員を表彰

［illegible］

修鍊生の報告會

［illegible］

私達は救護婦へ
舞鶴高女の五乙女が熱願

［illegible］

志願兵學徒に續け
波田總長愛國班に呼びかく

［illegible］

十月の神宮參拜者
二十五萬六千餘人

［illegible］○九四を數へ一日平均八二六一八の參拜者であつた、昨年に比しては一日平均四二〇の減である

心配ない食料品と燃料
各道からどしどし計畫入荷

［illegible］

無煙炭貯炭場
十三ケ所を新たに設置

［illegible］

國民歌唱大會

［illegible］

止めよ蔬菜の闇搬入
永登浦署が取締りを強化

［illegible］

出廻り少ない生薑

［illegible］

春窮期に萬全

［illegible］

勤勞で送る
大詔奉戴日

［illegible］

素砂警防團綜合訓練

［illegible］

朱故廠女史獨唱會

［illegible］

日赤社員總會

［illegible］

白衣勇士を慰問

［illegible］

椰子 【103】
海野十三 作　村上松次郎 繪

紅丸號の運命（五）

［illegible］

ラジオ　9日

朝 ▲七・〇〇［illegible］

夜 ▲六・〇〇［illegible］

頑症の 痔と皮膚病に

外用 カミツクス

ニキビ・ソバカスの専門薬「ハクリ」

京日案内　案内料金

洋裁生徒募集　丸山洋裁學院

古本 高價買入　金剛堂書店

申眼科

都旅館

荷造と運搬 資材完備

紀新組

京城鍾路東亞醫院 眼科專門

ピアノ

古着

姜内科

ピアノオルガン

謄寫印刷

鍾路印刷社

特許・商標 辨理士 宮本建

タイピスト徒募集

豊田計理事務所

新本計理事務所

科齒 新井朋鎬

結婚調査 迅速確實 秘密嚴守 商業興信所

決算・清算・會社設立 大藏大臣認可 計理士 京城計理事務所

外科 同仁醫院

荷造包裝ハ 興亞社へ

貸衣裳

社員採用

女子

東京商業興信所

東洋金融會社

朝鮮海陸運輸

女子店員採用

外務員募集

京城日報

京日案内 御用命

引越荷造の 丸二組

内科

李泂柱齒科

タイピスト

京城禮式場

古着

玉川齒科

日本ニュース　常盤座　新富座　浪花館　東洋劇場　大陸劇場　第一劇場　京城劇場　若草劇場　明治座　城南劇場　中央劇場　和信映畫館　浪花劇場

テラポール軟膏
創傷・面皰・膿皮疹
火傷・膿瘍・痔疾
「第一」の外用スルフオンアミド劑
◎最高純度テラポールの、化膿菌に對する強き抗菌力を、患部に直接作用せしむる新外用劑。
◎創面を淨化して化膿を防ぎ、肉芽の新生を促進し、或は化膿部を自潰して切開を待たず治癒せしむる等、効果頗る速やかなり。
第一製藥株式會社

濕布はユデイ
厚生省推奨品

空襲への備へはよいか
戰爭災害の國營保險
火災保險は空襲などによる住宅、工場、家財、商品には責任を持たぬが、戰爭保險は責任を持つ
生命保險は空襲などによる人の負傷には責任を持たぬが戰爭死亡傷害保險は死亡は勿論負傷にも責任を持つ
朝鮮總督府指定の取扱保險會社

夕刊 京城日報

ブーゲンビル海域 更に戰果擴大中
わが海軍、激戰を續行

【東京電話】十月卅一日より十一月五日にわたる六日間ならびにニューブリテン島ラバウル上空における激戰の綜合戰果は米國を震撼さす大戰果を擧げたが今またブーゲンビル島方面海域で日米兩國海軍は大激戰を展開中で更に戰果を擴大中なる旨九日十一時左の如く大本營海軍部より發表した我等は今無限の緊張と感謝の念を以て前線將兵の武運長久を祈ると共に次に發表さるべき世界を震撼する戰果を待たう

大本營海軍報道部長談（九日十一時）目下ブーゲンビル島附近海域において激戰展開中にして帝國海軍部隊は大なる戰果を擧げつゝあり

忽ち廿機を擊墜破 ラバウル

【南太平洋〇〇基地九日同盟】わがニューブリテン島ラバウルに對し敵はまたも七日午前戰爆連合八十機の大編隊をもつて攻擊を加へて來たが、わが海軍戰鬪機隊は直ちにこれを邀擊、空中戰を展開し、その十六機を擊墜、四機を擊破した（この戰鬪でわが方も未歸還二機の損害を出した）

トロキナの敵陣爆碎 東ブーゲンビル島

【南太平洋〇〇基地九日同盟】帝國海軍航空部隊は六日深夜ブーゲンビル島トロキナ岬の敵陣地を强襲し巨彈を浴びせて、これを爆碎、敵に甚大な損害を與へ全機無事歸還した

櫻田武中將遭難
城大出身齋藤軍醫中佐も殉職

【陸軍省發表】[illegible]南方方面で指揮中なりし櫻田武[illegible]陸軍中將は過般[illegible]重要任務につくため飛行機にて[illegible]飛行中[illegible]行方不明となり、なほ搜索中なりしが、[illegible]木本[illegible]大尉[illegible]同十二日附戰死と認定[illegible]

櫻田中將略歷 仙台市出身、大正十年陸大卒業後同十二年サガレン派遣、同十二年第十師團參謀、同十四年歩兵第三十四聯隊大隊長、昭和五年陸軍省[illegible]同十年參謀本部[illegible]同十二年支那駐屯軍參謀長として[illegible]

齋藤軍醫中佐略歷 三河縣出身、昭和五年京城醫學專門學校[illegible]京城帝國大學醫學部[illegible]

木本大尉略歷 廣島縣出身、シベリヤ事件、滿洲事變、支那事變など[illegible]

蹶起せよ半島學徒
在京學徒、先輩を圍む座談會（完）

廣川榮一郎君　自分が志願をする動機といふか或は將來への希望といふやうな事を申上げる前に、順序として自分が過去に辿んで來た道程を申上げて參考にして戴きたい。自分が東京へ參つたのは十六年前である。[illegible]その間自分が敎育を受けたことを考へて見ると、本に於ける敎育といふものは、果してどんなものであつたか、それは餘り國體の問題についての敎育はしてなかつたのぢやないかと思ふ。自分はもともと小學校時代から歷史は好きでなかつたし、中學で習つた歷史もどうもはつきり頭に殘つてゐない。[illegible]所がこゝでお名前を申上げる必要はないと思ふが、ある大學の敎授をしてをられる方と、個人的に度々會ふことになり、その方から日本の古典に關することを聞いて戴いた。そこで[illegible]に關心をもつやうになり讀んで居るとなかなか面白い所がある。そしてその頃の學校はどこかといふやうにはけ國學院大學の神道部へ入つた。[illegible]

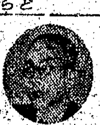
國大の慣例として入學すると一週間以內に內原訓練所に連れて行く。內原訓練所へ自分もまゐり滿洲へ渡身される訓練隊の方の働く樣を見、自分達も一緒になつて働いたが、そこで偉大なる感激にうたれた。[illegible]國民學校を出たての若い人達が滿洲へ渡身するため訓練として日常働いてゐる樣を見ると、とても東京邊りでは想像もつかないやうな苦勞をしてゐる。[illegible]

その中において自分の道は一層固まつて來た。[illegible]これは一言にしていふならば、惟神の道は、大君に對し奉り[illegible]

加納氏　いま[illegible]

『志願』より『お召』を
我等、生命を奉還せん

康本君　自分としては[illegible]



雪井君　[illegible]

北村東京事務所次長　[illegible]

出席者（順不同）　[illegible]

本多學務課長　[illegible]

『官吏の心構へ』未だし
小磯總督、定例局長會議に强調

[illegible]定例局長會議は九日午前九時半より[illegible]

米、重大軍事會議

【ブエノスアイレス八日同盟】ワシントン來電＝米國大統領ルーズベルトは八日突然ホワイト・ハウスに米國陸海軍最高首腦を召集、重大軍事會議を開催した、出席者は陸軍參謀總長マーシャル、海軍作戰部長キング[illegible]

身を挺し地雷掘り
將兵、豪雨暗夜の湖南戰線に凱歌

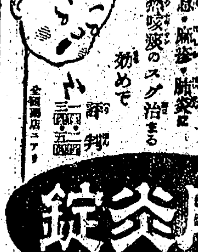
【湖南〇〇前線八日同盟】[illegible]

名譽とは忠誠なり
ナチス蹶起廿周年記念 ヒ總統決意表明

【ベルリン八日同盟】ヒトラー總統はナチス蹶起廿周年に際りミュンヘンのレーヴェンブラウ酒場に臨み、ゲーリング國帥、ゲッベルス博士、ヒムラー內相、外務總務官全ライ博士、ローゼンベルク、マン[illegible]氏その他ナチス黨の領袖を前にして約一時間にわたり[illegible]ドイツ國民の決意を表明した、總統の演説要旨次の通り[illegible]

モロトフ倫敦訪問

【ストックホルム八日同盟】[illegible]

感冒
喘息・肺炎・肋膜炎に
熱咳痰のスグ治まる
勍めて
評判

全國藥店ニアリ
肺炎錠
販賣元 京城黃金町 朝鮮五星製藥株式會社

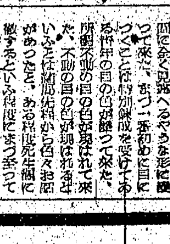
ビタミンB劑 オリザニン
消化酵素 タカヂアスターゼ
登錄商標 三共 純良藥品
東京市日本橋區室町 三共株式會社

優良眼藥
充血 疲れ目 霞み目 流行性眼瞼炎
殺菌 消炎 收斂 の四作用秀れ、毎日數回の點眼で各種眼疾の治療に奏效
スマイル

消化とビタミン補給に
ビオゲン錠

シム鐵防護に
ライオン齒磨

胃腸を整へて 消化力を增し 榮養を充實する
強力ビタミンB1の資生堂
ハイガ

詳しい說明書進呈
高血壓中風は
頭痛・のぼせ・めまひ 舌もつれ・耳鳴・不眠 肩こり・半身不隨

特殊腦ホルモン主配 急所回生藥
ギャクラミン

三寶の特撰藥
消化 榮養に
デアトミン錠
照內末
トフメル
三寶製藥株式會社

學徒出陣の名乗り
全鮮をどよもす感激

〝半島出身學徒も出陣の秋を迎へて〟一億國民の期待の下に〝我こそは〟と烈々たる闘魂を燃やしてゐたが、各地で開かれた學徒特別志願者の懇談會では〝我こそ兵たらん〟の名乗りをあげ、また父兄もその決意を揚げつゝあることを申出た、この感激はいま全鮮に〝〟の如く漲りつゝある

父は待つお前の蹶起
懇談會で愛兒へ打電

【大邱】八日大詔奉戴日の午前十時から大邱府會議室に學徒志願懇談會が開かれた、之に出席した大邱府内在籍の適格學徒の父兄約五十名―上野府尹の挨拶があつて朴慶北道警察部長を司會者とした懇談會で半島の愛國勢父兄の一部氏（中樞院參議）が先づ前大に在學中の正道（次男）を揚げることを表明、熱烈火を吐く父兄の決意を表明、自ら子弟を出陣させることを申出でる者二十一名その人は次の通りである（寫眞は懇談會）

◆徐丙朝氏（明大、正道君）◆大邱府大鳳町徐丙海氏（延禧、二總君）◆大邱金子成國氏（東京商大、忠世君）◆慶山富田錫海氏（立命館大、秋昌君）◆慶山潤國吾商氏（東北帝大、明保君）◆慶山岩田炳秀氏（城大、錫範君）◆大邱明原正郎氏（城大、一致君）◆大邱伊原浩哲氏（早大、正弼君）◆大邱三宅花天氏（千葉醫專、英三君）◆大邱岩城正伯氏（滿洲大學、錦昌君）◆星州徐相國成氏（法政大學、永勳君）◆星州松本川根周氏（中大、文一君）◆慶州新井錫昌氏（中大、昌一君）◆慶山杏山宮吉氏（早大、錦文君）◆慶山大原達錫氏（京都帝大、泰浩君）◆慶山安藤相錫氏（日大、鏡和君）◆大邱德山源玉さん（京城齒專、新秀君）◆淸道田伊東健氏（中大在學、昌熙君）◆大邱岩田淳仁氏（城大、龍昭君）◆大邱永岡泉貞さん（明大、哲三君）

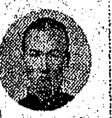
なほ同懇談會で志願決意またはさ志願を申出てないものは何れも來る廿日の締切までに志願せんことを決議、次のやうな檄文をそれぞれ愛兒に打電することゝなつた

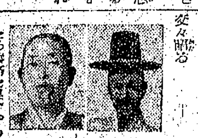
【檄文】明日は二十日までだ、早く志願せよ、父は切に望む、志願の可否返事待つ父【寫眞＝同懇談會】

感激語る出席者

【大邱】八日大邱府會議室で開かれた學徒懇談會で適格學徒の父兄の一人である大邱府大鳳町中山潤基氏は長男が在學中の學徒父兄の席上慨然たる態度で志願を申出たが次の如く決意を語る

自分が率先して學徒志願にあるので父母がどういはうと斷じて當國軍人の名譽を擔ひます、父母も勿論賛成してくれることと信じます





孫文明正道君の父中樞院參議一郎氏および慶山郡珍良面の父親日本大學二年安藤鏡和君の父親相錫氏、同じく府内鳳山町三七明大三年永岡哲三君の母親泉貞さんは交々語る

感激に燃ゆる學徒の心境は勤勞奉仕の學徒諸君の範となるものと信じます、必ず志願さすことが國民の一人としての務めです

息子よ征け
海州新井氏強く激勵

【海州】府内旭町新井俊男氏の長男利孝君（二三）は日大法科に在學中の學徒ですが、たる際、家業を果ずやう激勵しましたのでもう内地での手續がすんでゐると思ひます、米英擊滅の最前線に征つてくれることを望みます、それ以外の光榮があるでせうか【寫眞＝新井利孝君】

次の如く語る【寫眞＝新井氏】

利孝は自分の子であつて自分の子でない、私達國民は畏多くも陛下の大事な赤子をお預りしてゐるのだ、何んで彼らの希望の芽をふみにじれよう、二、三日前利孝から〝お父さん是非征かせて下さい〟との手紙が來たので〝でかしたぞ、立派に征け〟と早速電報を打つてやつたそれは日本人ならでは想像出來ないことであり又誇りである、兵隊に征ける日が來るならこんなに嬉しいことはない

感激篇二つ

【釜山】これは都邑に報ぜられた半島の父と母の感激篇である……

【その一】〝お前はそんなことを相談しに、わざわざ歸つて來たのか……〟

〝でも僕は長男ですから……〟

〝長男がなんだ、家がなんだ、早く役所に電報を打てツ―兵隊に行くんだ、馬鹿ものめ―〟

これが京城商高二年に在學中の長男正明君（二一）を迎へた父君の第一聲であつた、府内松下町會長である西原さんの眼にはさすがにキラリ光るものがあつた

【その二】〝母はお前の固い決心を知つてゐます、お前はよもやこの母がお前の決心に反對するのではないかと、それを心配してゐたにちがひありません、ご安心なさい、この母になんの權利があつてお前が兵隊になるのを反對することが出來ませう、母はたゞお前がりつぱになるのを樂しみに待つてゐるのみです、お前がりつぱな兵隊になるのも母にとつてはまた無上の樂しみです……〟

これが母の言葉であつた、この母の言葉を聞へる鶴子、元山本四年一經山本秀昌君（下七）も、またそれを

父最高の喜び
全州の李家氏

【全州】全州府からも二名志願した―京城明倫專門學校二年三中一弘君（二〇）同一年李家禎一郎君、一弘君は八日三中君の父親府鄕氏は次の如く語つた

皇國に生を享けて軍人になるのは無上の光榮だ、三男の一弘が今度多くの學友と共に出陣を決意したのは父として喜びに堪へない、明倫專門學校は忠孝の道を學ぶところと聞いてゐる、合格の暁には立派な働きをしてくれると思ふ、四男一央（二）も明年が徵兵適齡だからこれも大君に捧げることを築んでゐる【寫眞＝三中一弘君】

〝出陣に何の許しぞ〟
歸省の我子叱るこの父この母

わが子が學徒の先陣を切つて帝國大學在學中の學徒が志願を申出たのを、父母の許しを得て親に相談すべく歸つて來た學徒がある、學校の許しを得て親に相談すべく歸つて來たのである、〝お前の體をお國に捧げるのに父などに相談する理由がどこにあるといふのだ、父は父である、お前はお前だ、みんな國家の〝公〟となつて奉公するのみだ〟公と私とを混同すまいとする父の態度には氷のやうな冷たさがあつた、しかしそこには父なればこその温かい親愛がこもつてゐた

〝征け―早くお前の部隊に行つたらいゝんだ……〟【寫眞＝西原君】

またも二名
平壤署へ出願

【平壤電話】平壤府内の學徒が平南道學徒の先陣を切つて平壤警察署に志願を申出たのが嚆火となり、今道内に歸省中の五百餘名の内地在學中の學徒が蹶起せんとしてゐるとき更に九日朝又も二名の志願者が現れた

その一　平壤府船橋里村廿六番地木沼致男氏次男明治大學專門部法科一年在學中平沼英一君（二）で同君は子供の時から熱心な軍人志願者、今度の陸軍志願を思ひ立ち、お父さんに相談したところ、斷じて征けとの勵ましを受けた

その二　新陽里一二一番地安田八龍氏長男中央大學專門部法科一學年在學中の安田益成君は先ほど病氣勝れず二ケ月間休暇を貰つて歸省中恢復、胸躍らせ父親の諒解を得て直ちにお願したものである

朝鮮みやげ　パカチ工藝品　本町入口　大和軒

勇み銃執れ
林氏も激勵

【海州】碧城郡青龍面加頭院里林敬成氏（六七）は六男五女の子寶を持つが海州陸軍志願兵訓練所長と同時に日大法學部二年在學中の三男敬之助君（二七）にあてて〝軍門に勇んで征け〟と激勵の電報をうつた、林さんを訪へば、堅固至極そ つぎの如く 述懐した

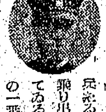
今度敬之助が歸省して〝お父さん僕達です、一緒に机を並べる内地の學友も召されてゐるのに私はそれが出來ません〟と涙を流してゐた、それだけに今回半島學徒にも光榮の扉が拓かれ感激に堪へない、子供達が勇躍戰場へと志してゐるのに父兄が押へてゐる傾向があることは遺憾だ、國家あつての國民であり家庭だ、國がなくてどこに家庭があり國民があるか、私には三男敬之助と五男潤爲（二七）六男泰孝（二〇）の三人がある、三人共に捧げる覺悟だ

金井君も起つ
新義州これで六名

【新義州】既報の五名に引續き新義州府から更に又一人が名乗りを擧げた、新義州北町一ノ一、水產物加工會社金井元明氏（五七）次男、早大文學部哲學科二年飯眞君（二）で同君は先月末歸省、今回半島人學徒諸君と共に何にしても銃を手にとつて征かねばならぬと八日の大詔奉戴日を期して新義州府兵事係に志願の手續を取り、學校を經て手續をとるため十日出發した父は赤四十五歲の壯年期であり兄は江原道廳に勤め、京川中學二年在學中の弟もあるし、又その上一家は揃つて僕の決心を支援してくれてゐるし、何ら後顧の憂ひもなく勇んで戰場に赴きます、日本人の學徒として、半島人の學徒としてやつてゐるのみです

奉戴日に蹶起
釜山から金田君

【釜山】慶南道出身で内地大學に在學中の半島學徒一百七十餘名は國難の至誠に燃えてそれぞれ志願すべく名乗り出んとしてゐるが、その一番乗りとして慶南道東萊郡福田面福泉洞一六〇番地出身金田安弘君（二七）九大法經部三年生は八日大詔奉戴日の吉日を選び釜山兵事部を訪れ志願の手續きをとつた【寫眞＝金田君】



大皇戰遲れまいぞよこの志願

同家が昨秋中年の子である學徒一年在學中である二八君を迎へて父として嬉しさうに征けと語る……大詔奉戴日、府内校と決意を明らかにした府會議員である……

日華相携へ米英擊滅へ
けふ參戰記念日 在鮮華僑の誓新た

在鮮華僑各團體では中國參戰第一周年記念日の九日朝九時京城中華民國總領事館に於て馬中華民國總領事以下京城、仁川兩華僑代表一般僑胞及び漢城華僑學校生徒等一千名參列して「中日同盟東亞聯盟協會」を開催、馬總領事は「鬼畜の米英を擊滅せよ、同盟以て大東亞戰爭の完勝を實現し、世界文化の淵源たる東亞細亞の復興に一致協力勇往邁進せん」とし、仁川同會館から誓詞を捧読、大東亞戰爭の完勝に邁進せんと力強き決議の後解散、中華民國大使館に參拜、日本陸軍關係者を訪問した　ため、式後日華兩國旗を打振り朝鮮神宮に參拜、日華國旗を敬って朝鮮軍司令部、朝鮮總督府、京城府、道廳等に參拜に至る聯隊の案内で朝鮮軍司令部、武官府並に本社を訪問、午後五時式を終了した

またとない好機
平南の初名乗り高城君

【平壤】平南道の學徒特別志願一番乗りは平壤府内新倉町九三高城威雄氏の三男永哉君（二）である、同君は立教大學豫科二年に在學中家庭の都合で先月中休學歸省した、が〝我こそ兵たらん〟の志を胸に秘め今回の學徒特別志願の機に際して九日八日平壤府に訪れて志願手續方を依頼すると共に、八日本社の支局に訪れて自分の動機などを語つた

高城君を自宅に訪れると

動機など聞くだけ野暮ですよ、前線に出たさうずうずと手柄を樹て兵を出しましたが、退屈だつたで、れずに今度は學徒志願をお願ひしたところです、數年來肉親に勸められてゐた西部戰線の燃え拂つてゐた西部戰線で志願をしたが今度こそ此の機會を捉へて願をかなへてもらひたい、私自身の體も良くなりましたからぜひ軍人となつて大いに御奉公したいと思ひます

和氣君の嚴父感激

つもりでやります

去る六日火を吐く必勝の熱意を訴へて感激を學徒志願者が府内の和氣君で大同郡鐵山面の學徒在學中の水原高農林學校一年在學中の和氣明君（二）を訪れ更に大同郡鐵山面の學校の父親和氣保氏は普通學校教師として長年勤め、この時子に後事を託したので、かうした時代にあつて、頑張れて勝つて應召しても惜くない、それで學徒も父として滿足です、時代は變りました、今の時代は苦行するより闘國に報いなければならんと感心しました、國を捨す私たちもたつた一つの孝心として祖國に感謝したい次第です、それで僕は〝やります〟と言ひ征つたのです、どうぞ一切の手續きを私に頼んで許して下さい、私の感激は一切の手續きを私に頼んでやります、水原の學校へ歸り先生達にも謝んで頂いてゐると思ひます

時計の修理は材木

陸海諸學校へ晴の榮冠
咸南から八名

【咸興】若き闘魂を滾らせた咸南の少年學徒中から陸海諸學校入學を志願するもの多數、この中より陸海軍諸學校へ採用されたもの八名もあり、その快報が新たに聯隊區司令部に寄せられ、なほその氏名は次の通り

◇陸軍豫科士官學校採用豫定者＝北青郡俗厚面江上里木村範福▲洪原郡水良光▲同清水正明▲咸興府西上町五四ノ十松原秀行

◇陸軍航空士官學校＝興南邑日頭合福

空の大決戰に資金
勤勞者が四十四萬圓獻納

敵愾心に燃え、國民總力朝鮮聯盟では七月の「米英擊滅銃後決戰獻金」運動を提唱して勤勞者の勤勞奉仕により職場からの獻金に努めるやう呼びかけた、この期間中に同聯盟では本元師の英靈に誓ひ、決戰に備へて職場の資金を集めてゐたが、去る六月五日から七日間戰はれた「米英擊滅獻金勤勞者獻納運動」はこの期間中に同聯盟に寄せられた獻納資金は總額四十三萬八千九百三十三圓七十九錢に達し、職場別に獻金額を見ると、その内譯は左の通り

▲京畿九五、八九四圓八〇▲忠北二二、六〇三圓三二▲慶南三〇、四三一圓一〇▲江原三一、二四〇四八九▲慶北二一、一四二圓二四▲全南四九、二七八四八六▲黃海六六、五二九圓一八▲咸南二一、七八四四八▲慶南二一、二二七四▲平北一七、三二二一圓六▲咸北四一、二二四圓七五▲平南四四國境國一〇、八七七圓七三

決戰貯蓄總蹶起運動展開
十二月八日から二十五日まで

國民總力聯盟では去る十月決戰生活の徹底を圖つて生活の簡素化に努めその餘力を擧げて總力の貯蓄を強化すべき國民運動を展開することになり、この實踐を強く呼びかける

戰力増强の源泉たる貯蓄の重要性に鑑み、決戰下の生活を徹底させ貯蓄を強化し、國民總力朝鮮聯盟を主軸とし各種團體の主催のもとに十二月八日から廿五日までの十八日間に亘つて全鮮に「決戰貯蓄總蹶起運動」を起し十二億の貯蓄目標に一路の拍車をかけることになり、これが運動の實施要綱をつぎの如く決定した

一、決戰生活の徹底化と戰力増强の源泉たる貯蓄の強化

二、個別目標額の必成

三、特別の實踐貯蓄

四、特別の本年度の貯蓄目標額の必成

これ等の目標達成を期し十二月八日から十六日までの五日間を「生活改善日」と定めて日常生活に少しでも無駄があつたり非戰時色のものを一掃して國力強化のため戰時生活を徹底し、又十七日から廿一日迄を貯蓄の日とし、廿二日から廿五日までを「貯蓄總動員日」など運動期間中を四段階にわけて二千五百萬國民に貯蓄報國の熱意を植付け以て十二億貯蓄に邁進せんとするものである

なほ運動期間中はラジオ、新聞雜誌、各種機關を動員するほかポスター、映畫などでの宣傳フイルム上映、講演會、座談會、紙芝居、移動演劇、音樂會、街頭宣傳等によつて氣分を盛り上げる筈

靑少年よ征け空の決戰へ
十九年前期甲飛練習生募集

【東京電話】海軍省では航空戰力の充實をはかるため昭和十九年前期甲種飛行豫科練習生を募集することになり、八日その應募要項を左の通り發表した

志願書の提出期日は各府縣兵事課及び各地方長官より一般に告示されるが大體十二月二十五日前後をもつて締切、志願資格は中等學校第三學年修了程度の學力を有するもので年齡十五年以上十七年未滿（大正十三年十二月二日より昭和四年十二月一日までに出生者）であるが、學歷の制限はない、試験は昭和十九年一月上旬身體檢査、口頭試問および學力試驗が行はれるが、學力試驗は一月六日、七日全國一齊に行はれる

合格者は四月一日海軍航空隊に入隊し、約二年六ヶ月（戰時中にわたつて短縮されてゐる）にわたつて教育訓練をうけ搭乘員として前線に出陣する

詳細は各市區町村役場か、最寄の海軍人事部または地方海軍人事部などに問合すか「甲種飛行豫科練習生案内」の送付を請へばよい

肉類の指定消費地決る

戰時下に於ける國民食肉の需給調整を圖るため總督府では先に朝鮮食肉配給規則を公布したが同規則の第二條、第三條および第八條の規定に基く消費地が指定され十五日から實施することになつた、指定消費地は京城、釜山、平壤、大邱その他の府及び地方で、指定され た府邑ではみだりに屠殺も許可を受けなければ出來ず、一元的統制を受けることになつてゐる、又これと同時に屠殺數量の制限も十九日から設定することになり九日官報に告示されたが、これは總督府の最高販賣價格を定め消費地域の一部が漏つたため、肉價は京城、平壤、釜山の三府が十五錢より高く、その他の消費地は十五錢方下げになつたものである

一分強の上昇
簡保維持強調期間の中間成績

【遞信】簡易生命保險では十月十日から十一月十五日までを簡保維持強調期間として職員一同奮闘してゐるが、その中間成績を見ると、カード持出し件數二萬六千八百九十五件、この中收立件數一萬九千五百件、十月中の持出し件數四萬六千二百十七件に對して收立件數一萬五千七百四十六件で五割六分に相當する、前年同期間の成績に比すれば一分九厘の上昇を見てゐる

商況（九日）

證券　小高下　材料待ち

當面、ここ數日にわたる大戰果は盛んな株價に反映されてよいわけであるが、一般投資筋はなほ自重の態度を持し、未だ株價の上には何ら具體的な動きは現はれず、依然保合相場の小高下を繰返した、東株現物は既に七月末以來の底値を脱して居るとみらゆる反動が現はれ、動きはあるのであるから、敵の兵力も早晩限界にはあるかないかとみられる、なほ長期取引は淸國新四十九圓七十錢、瀛旧五十九圓九十錢、小林六十五圓廿錢と保合、日本マグネ六十八圓九十錢と廿錢方安り、新鐵六十二圓五十錢と二圓方續落、朝鮮機械七十一圓十錢と小反りを示した

後場（保合）新規材料待ちに引續いて見送られ、諸株とも保合裡に推移した

〝實物〟超閑散

新規材料待ちに一般に市内見送られ一般と場間閑散を呈した、現狀から推して今後なほ人氣の離散は免れ難い情勢にあり、株價も保合圏内の小往來に過ぎであらう、主なる出來値左の如し

龍工新五〇圓▲小林六五圓四▲鴨商證五二圓一一圓

重點株好調を期待

戰爭の苛烈化に伴ひ、軍需生產増强の要請切なる今日、綜合統一的な計畫、計劃實施への意向が強く要求されるので、戰局は航空機と船舶の増强を强く要求してゐる、從來機構よりも運轉制度よりも人といひつゝけて來た政府が、國政運用の寸刻の停滯をも許さぬ急迫情勢の前に、政府へて軍需省以下の大々的機構改革を斷行したことは事態の急迫を知るとゝもに從來の機構を以てしては増産到底、緊急な計畫と强力な實施を所期し得ないと認めたにある事を知らねばならない、軍需株は國力を極し働く途も外敵を戰勝しなければならぬといふ觀點で、の企業は勿論國家的要求を第一義としてゆかねばならぬ、必然から考へて、機構改革の方向は自ら明かであり、その運用について期待も在り得るわけである、即ち個々の企業が小數特定の會社に適用されるに止まるならば苟くも業種生產に關する限り、一般企業會社についても、その經營方針が株主本位の經營の制約から解放されて國家の生產計畫に一致の指揮をもつて來るわけである、これにより國家はもとより企業の受くる利益は測り知れないものがあるといひ得るのである、今後航空機を中心として軍需生產が急速且つ飛躍的に増加されることが、益々期待となつてゐるのであるから、かうした好調を株價は逆に反映し、時局産業株中心の好調が期待されるのも決して不思議ではなからう

山一の投資信託　山一證券では近く投資信託受益證券第五回の新しい投資信託を十一日から賣出す事に決定した、投資信託によつて株式の市場は今後期待されることは必至であり、株價の前途にさらに新た需要の道が開けるものとみてよからう

清算出來値（九日）

銘柄	前場　中	先	後先
朝鐵工	新 引寄	[illegible]	[illegible]
朝 鐵	[illegible]	[illegible]	[illegible]
小 林	[illegible]	[illegible]	[illegible]
遊 仙	[illegible]	[illegible]	[illegible]
マグネ	[illegible]	[illegible]	[illegible]
新 鐵	[illegible]	[illegible]	[illegible]
朝機械	[illegible]	[illegible]	[illegible]

大阪長期

銘柄	前場	後場
大阪長期各銘柄	[illegible]	[illegible]

東京長期

銘柄	前場	後場
東京長期各銘柄	[illegible]	[illegible]

現株仲値（九日十一時調）

銘柄	値
◇銀行株	[illegible]
◇諸株	[illegible]

文化たより

演劇の競演白熱化
賞金附の第三次演劇競演

決戰下演劇文化の向上を期し、國民總力朝鮮聯盟主催で開かれた朝鮮演劇文化協會の第三回演劇競演大會の參加劇團は決定した、去る十一日から二十日まで府民館で競演、劇團〝豊年〟〝阿娘〟〝成軍〟其の他（十二日）、劇團〝湖南〟〝大同〟（十五日）、〝高協〟（十七日）〝藝苑座〟以上の劇團が競演するもので、作品は總てテーマとして朝鮮の決戰下の生活と銃後の國民の覺悟を喚起するやうなものである、決戰の一大劇團の勝者は國家的見地から國民の士氣を昂揚する明朗健全なものでなければならない、これに依つて國民演劇の向上と半島演劇の新しい方向が把握さるべきである

◇總力聯盟文化部では名流畫家四十名の作品を展觀して八日午後一時から丁子屋四階で展觀する

堀田總督日本畫展　氏は國展無鑑査の作品を出品して各方面の注目を惹いた

映畫雜誌統合

映畫雜誌は從來の四誌を統合して新興雜誌二誌に統合されることになり、このうち映畫出版社、映畫日本社、映畫旬報社の三社が統合し、「新映畫」及び「映畫技術」の二誌が發行さるゝことになつた、十二月一日から新發足することになつた

大和水軍（47）
異國の王子（五）
村松梢風（作）
中一彌（畫）

ヤスラを王宮から追つ拂ふべきかといふことに就いて廷臣の相談を開いた、するとヤスラの母母は一人で殺すにしのびないカインといふのが、

〝それなら名案がある、今晩へ入つてある和國の船將に對して家から物をすることになつて居るから、其の席上でヤスラを殺すことにして、わたし達は其處で刺殺したことを言へば、私共は此の場でヤスラを、とりおさへて、船將へ引渡してしまふ、和國へ送つてしまへば、二度とは還れまい〟とのことだつた、どうでも其處にと云つた

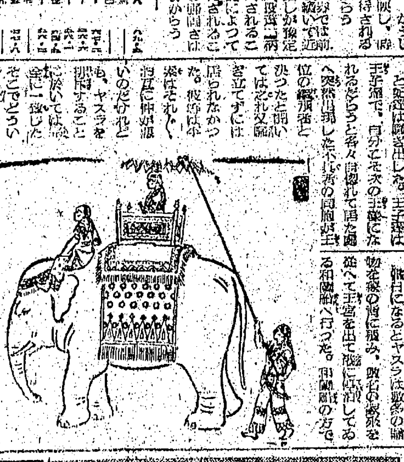
ヤスラは此の突然の問ひに些か驚いたが、それは何の話かと思つて聞き返した、カインはヤスラに和國と戰爭するかどうかとたづねた

ヤスラは王子殿、其下はわが和國船將に面會してヤスラを招待して行き、其後で殺すことゝなつたのである、船將は陛下、國王殿の心配していらつしやる通り、其れ迄に和國に敗けたのではない、王子殿、其の代り、我々の國の兵はまだ戰つてゐないのですと申しました

ヤスラは王宮へ行つてカスミ王子と相見し、久方振りの親子對面を喜びあつた、人を退けて種々の事を問ひ試みると、王子の態度は明快で、和國の使節に對して非禮の事を致すことは決してない、和國の兵を收めて、和國の使節へ和平を申込むやう、我々は和國と戰はうとは思はないといふ意見で、カスミ王は非常に喜びのあまり王子に全部をまかせた

此の意見は忽ち人々の賛成するところとなつた、二三日經つと宮廷の大臣とカイン外一二名の王子達がヤスラの所へ來て〝今度來た和國の船將に對して贈物を持つて行く役を、從來王子の職分が定めてあつたが、あなたは一番長兄のことでもあるから今度は是非あなたに行つて頂き度い〟と一同で言葉巧に頼んだ、正直なヤスラは彼等にそんな腹がみがあるとは知らず、又彼は和國と開戰する意見ではあるが、それには十分な敵の準備も整へなければならず、敵の本情を知ることも必要であるから和國の船に往つて親しく彼の戰力を觀察して置くことは何れにしても得策だと考へたので快く其の役を引受けた

當日になるとヤスラは數多の贈物を數の背に積み、數名の家來を從へて王宮を出て靜かに行列して來る和國船へ行つた、和國船の方で



京城日報增頁　挿畫　歡迎

ビルマ領　加藤信一
放鄕の母の手紙はこまごまと涙をさそふ
爆撃のなかにトーチカ噴かれて激戰の碑も凍り付けり　仁川　近藤敏明
山河を越えて來つゝ敵兵にまみれ行く我等　慶州　南　加茂
へやわたくしならず
京城　西原　幸
よき死場所へと赴かむと征く日よ近き身をいとしめり　京城　矢崎龍之介
海を越え、山を越えて戰ひのなかに生ひたちし我を思ふ　中山　杉野　義之
燈下の火かしたるのみに別れたり明日は征くべき友と寂ひつゝ

京城婦人病院　産婦人科・ラヂウム科・レントゲン科　院長醫博 松本治　ドクトル 工藤武城　京城黃金町九四

空瓶回收に御協力下さい　ニッポンブランデー

皮膚泌尿性病科　醫學博士 渡邊晋　本町入口 日本生命裏　電話本局9874

醫學博士 細柄學　性病泌尿科　明治ビル3階

清水式灸と指壓　京城府中區明治町八十四番地　醫學士 清水可昭

久我井上國院長　井上内科　昭和通ロータリー　電本1851

株式會社 東亞證券　朝取一般取引員　京城黃金町二　電話本局五一一六

吉村取引店　京城黃金町　案内所

普通病室　隔離病室　内科一般　X光線科　佐藤内科　院長 醫博 佐藤小五郎

西原產婦人科　入院隨時　京城新龍山三角地

女子從業員募集　御希望の方は履歷書持參本人來談あれ　年齡十六歲より廿歲まで　大映直營 京城劇場　京城本町三丁目

レントゲン科　近江產婦人科　入院室完備　電②三〇四九　醫博 近江利之　旧合村病院

神經科 城北病院　院長 明柱完

公社債・株式・賣買・引受・募集　大東亞戰爭國債　貯蓄報國　川島屋證券　京城支店　朝取一般取引員　電話本局②一四七六・八三八七・八三八八・八三八九

公社債株式會社賣買　昭和證券株式會社　朝取一般取引員　京城府明治町

京城日報

號外

昭和十八年十一月九日

戰艦以下廿隻轟沈破

敵の太平洋艦隊を潰滅

ブーゲンビルで大戰果

大本營發表（十一月九日十六時）帝國海軍航空部隊は十一月八日朝以來ブーゲンビル島南方海面に於て敵輸送船團並に護衛艦隊を猛攻中にして只今のところ判明せる戰果左の如し

撃沈 戰艦三隻、巡洋艦二隻（轟沈）驅逐艦三隻、輸送船四隻

撃破 戰艦一隻（炎上大破）大型巡洋艦二隻以上中大破、巡洋艦（若くは大型驅逐艦）三隻（炎上大破）大型輸送船一隻（炎上大破）△撃墜十二機以上

我方の損害 自爆未歸還合計十五機

〔註〕本航空戰を第一次ブーゲンビル島沖航空戰と呼稱す